

整形外科

腰部脊柱管狭窄症

国吉病院

整形外科部長 矢作 宏 さん

高齢者の腰痛は、加齢の変形による変形性脊椎症が最も多いのですが、最近では腰部脊柱管狭窄症による障害が多くなっています。その症状は腰痛、足のしびれや痛みが多く、お尻周りのしびれや排尿障害に



なることもあります。休まないと歩けない「間欠性跛行」が特徴的な状態で、活動性が低下し日常生活が制限されます。このような場合は整形外科を受診してください。腰部脊柱管狭窄症は診察と、エックス線検査

や磁気共鳴画像装置(MRI)、コンピュータ断層撮影(CT)による検査でよく分かります。さらに必要な際は入院し、脊髓造影や造影後CTが行われます。軽い症状のときは神経の循環を良くする薬や鎮痛剤、理学療法やコルセット、神経ブロックなどで症状の改善を図ります。腰部脊柱管狭窄症は自然治癒せず、時間の経過で症状が進行します。症状が強くと、だんだん進んでいく場合には手術が必要となる場合があります。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科 他